

## 研究部會記事

### 鑄物部會第1回鑄型専門委員會

日時: 25. 6. 13 (火) 場所: 日本鐵鋼連盟會議室. 出席者: 部會長 菊池浩介 (日本鋼管). 委員及隨員 小谷 (新扶桑鋼管). 池田 (同本社 技術部). 山下, 橋本 (日本鋼管). 福原, 長谷場 (神戸製鋼). 中川, 小平, 吉瀬 (八幡製鋼) 池田, 秋元 (同本社). 久芳 (富士製鐵廣畑), 尾上 (川重, 葺合). 小野, 澤田 (神戸鑄鐵). 小森 (新日本鑄造). 谷口, 河村 (川重, 知多). 長門 (同兵庫). 堀切, 樋口 (四國機械). 川端 (久保田鐵工). 幹事, 水谷事務官 (機械局). 三木 (鑄型ロール). 吉田, 樫淵 (鐵鋼連盟).

議事: 1) 専門委員會運営方針について菊池部會長より説明ありこの専門委員會で検討決定された事項は本研究部會委員會で発表することに決定. 2) 鑄型の顯微鏡組織標示方法の検討—代表的組織寫眞を作製することに決定し川端委員擔當とする. 3) 鑄型の寸法と使用成績調査表案…幹事案による調査表案を検討し原案を決定す. これを各會社に送付し資料を集めて幹事にて整理し発表することに決定. 4) 疣狀試料…鑄型組織を判定する爲につける疣狀試料について検討し切斷にハンマーを使用すると椀狀となり初期割れが出易いので成るべく鋸にて切斷すること. 5) クレーシング対策…新扶桑にては Ti を添加して対策を研究中. 6) その他次の問題につき意見の交換が行はれた.

a) 鑄型形状について過去の標準寸法表の検討. b) 鑄型成分中の P と初期割れの關係. c) 熱歪の研究. d) 眼鏡形ケースの中壁の割れについて. e) 配合銑の問題.

### 鑄型部會第2回鑄型専門委員會

日時: 25. 9. 4 (月) 10:30~16:00 場所: 日本鋼管本社會議室. 出席者: 部會長 菊池 (日本鋼管). 委員及隨員 三好, 上田 (八幡製鐵). 上田 (同本社). 渡邊 (富士製鐵廣畑). 森永 (同本社). 烏羽 (新扶桑本社). 山下, 橋本 (日本鋼管川崎). 山縣 (同本社). 河村 (川崎製鐵知多). 小森 (新日本鑄造). 幹事 水谷事務官, 渡邊技官, (通産省). 三木 (鑄型ロール會). 吉田, 岩崎 (鐵鋼連盟). 当日は關西風水害の爲神戸鑄鐵, 四國機械, 久保田鐵工, 川崎製鐵, 神戸製鋼等缺席.

議事. 1) 鑄型寸法と使用成績……10社より資料の提出あり, 幹事にて種々の統計を作り次回に発表することに決定. 2) 鑄型寸法……製鋼用鑄型審査委員會にて制定した鑄型標準寸法表を配布し定用性とその改變の可否を討議したが各社とも参考にはなるがそのまま使用出来ぬので定用價値は少いとの見が多かつた. 然し標準のものも必要であるとの意見もあり次回に尙検討することに決定. 4) 配合銑……各社より配合銑の異なる鑄型の使用成績提出を求めたが次回に取纏めて幹事より発表することに決定. 尙富士製鐵の釜石, 輪西は同じ 5t 鑄型を使用しているが釜石の方は2倍位の壽命あり釜石銑の影響ならんとの説明があつた. 5) 鑄型肉厚について……新日本鑄造より鑄型の肉厚を減少せしめた場合の成績の発表あり肉薄でも成績がよいので更に薄くして成績を見ることにする.

### 鑄物部會第1回ロール専門委員會

日時: 25. 6. 14 (木) 10:00~16:00 場所: 日本鐵鋼連盟會議室. 出席者: 部會長 菊池浩介 (日本鋼管). 委員及隨員 守屋, 大谷, 谷昌博 (大谷重工). 谷口, 河村 (川重知多). 山崎 (同葺合). 小平, 吉瀬 (八幡製鐵). 濱本 (同本社). 堀切, 樋口 (四國機械). 生駒 (日立). 高木 (日本鋼管鶴見). 山下 (同川崎). 山本 (新扶桑製鋼). 池田 (同本社) 三瀬 (同鋼管). 幹事 水谷事務官 (通産省). 三木 (鑄型ロール會). 吉田, 樫淵 (鐵鋼連盟).

議事 1) 専門委員會運営方針について……菊池部會長より説明あり, この専門委員會で検討決定された事項は本研究部會委員會で発表することに決定. 2) グレンロールの品質向上に關する研究……グレンロールの特性について大谷委員及び樋口委員より説明があつた. 特に Cr, Ni 等の影響について定例の説明があつた. 新扶桑及び日本鋼管より製管用グレンロールは肌荒れが生じ易くこの防止の要望があつた. これについて谷口委員より Mo の添加が多少の効果があるならんとの見が述べられた. 3) ロール成績調査表案……薄板ロールの成績調査表案につき審議し原案を決定す. これを各薄板工場に送付し成績資料を集めて幹事にて處理して発表することに決定. 4) 次の各項について研究調査の要望があつた. a) 鑄鐵製ロール製品の比重. b) カリバーチルドロール. ……深溝用ロールとしてグレンロールの代りに強い要望あり今後の研究課題とする.

## 鑄物部會第2回ロール専門委員會

日時: 25. 9. 5 (火) 10:00~16:00 場所: 日本鋼管本社會議室. 出席者: 部會長 菊池浩介 (日本鋼管). 委員及隨員 荻安, 吉本 (日本鋼管本社). 山下, 橋本 (同社川崎). 高木 (同社鶴見). 上田, 三好 (八幡製鐵). 類家 (富士製鐵本社). 和田 (同社釜石). 河村 (川崎製鐵知多). 辻 (神戸製鋼). 生駒 (同立本社). 安高 (同社若松) 池田 (新扶桑本社). 草間 (四國機械). 大谷, 守屋, 谷, 大内 (大谷, 羽田). 幹事 水谷事務官, 渡邊技官 (通産省). 三木 (鑄型ロール會). 吉田, 樫淵 (鐵鋼連盟).

議事: 1) ロール分類名稱の統一……實用的な名稱に統一することにし a) サンドロール, b) 2.Cロール, c) チルドロール, d) グレンロール, e) 鑄鋼ロール, f) 鍛鋼ロール, g) 複合ロールに大別することにし更に小分類を検討したが取纏め方を上田委員に依頼す. 2) チルの深さの判定について……チル試験片をマクロエッチせるものを製造所及使用工場に送付しチルの深さを判定して貰いそれによりチル深さの判定の基準を決定することとす. 擔當は宮下委員. 3) グレンロールの品質向上に關する研究……日立よりグレンロールに對するMoの影響につき説明あり. ロールの肌荒れ防止について検討が行はれた. 4) カリバーチルドロールについて……深溝ロールとして硬度の高いカリバーチルドロールの要求が強く, 大谷, 日立, 知多等にて既に製作乃至は製作準備中. 5) 薄板用チルドロール使用狀況調査……資料が集つたので秋の研究會にて幹事が取纏めて發表する. 6) その他 a) チルドロールの硬度に及ぼす特殊元素の影響 (硬度の計算方式) について大谷委員より説明あり. b) チルドロールの重量公式について大谷委員より説明があつた.

## 日本鐵鋼協會記事

昭和25年度第14回理事會報告 日時: 26—1—10 (水) 16時30分~19時30分. 會場: 協會々議室, 出席者: (會長) 田中 清治 (理事) 芥川 武, 繪野澤喜之助, 岡本 正三, 島村 哲夫代理池田 正, (前會長) 依國一, 松永 長久, (常務委員) 石田 四郎, 石田 稔, 石原 善雄, (主事) 金谷 三松

田中會長, 一昨8日午後4時25分前會長渡邊三郎君腸疾患の爲め急逝されました. 誠に哀悼に堪えません. 默禱を捧げたいと存じます. (一同起立默禱).

報告事項 1. 昭和25年度第10回編集委員會. 日時: 25—12—19 (火) 16時30分~19時, 場所: 協會々議室. 出席者: (編集委員) 成山道良君, 佐藤忠雄君, 野村純一君, 長谷川正義君, 濱本甲子生君, 松下幸雄君, 安田洋一君, 吉崎鴻透君代高橋久君, (主事) 金谷三松. 報告 (1) 昭和25年11月號は11月30日竣成發送スミ (双文社), (2) 同12月號は12月25日竣成の豫定 (双文社), (3) 26年1月號は1月28日竣成の豫定 (双文社), 協議 (1) 俵費表彰者選定の件 決定年末迄に各自書面を以て回答のこととす, (2) 昭和26年3月號原稿選定の件 (3) G. H. Q 情報部提供の資料を會誌に掲載の件決定1月號に掲載のこと, (4) 技術資料の記事を依頼の件決定, 濱本甲子生君, 安田洋一君及野村純一君の3君に御依頼のこととす,

協議事項 I. 今次第36回通常總會に附議すべき定款改正の件,

a. 理事半數の毎年交替. 決定一定款の字句はそのままとし實施細則の方で1回の意味を1年のことにことわること.

b. 會費の値上げの件承認, 原案通り, II. 同上總會に於て改選すべき役員候補者の件, 決定原案通り (評議員會通過後報告す) III. 同上總會に於て表彰すべき候補者の件, 決定 (評議員會通過後報告す) IV. 見學工場決定の件 決定, 各役員より申出の箇所全部へ交渉のこと, V. 年頭より總會に至るまでの執務事項豫定期日の件, 承認原案通り. VI. 鐵鋼局よりの御照會にて英國一政府へ2冊, 聯盟へ2冊, 印度一政府へ2冊. 會誌寄贈の件, 承認. VII. 入退會者及會員異動の件 承認. VIII. 昭和25年12月分收支決算審議の件承認.